

扶桑電通株式会社 若年層・中堅層の技能チェックと早期戦力化

会社概要

扶桑電通は、電話交換機の設置工事、回線敷設工事、通信用ケーブルやサーバー設置工事、コンピュータソフトウェア開発等を手がける東京都に本社を置く社員数1,055名の企業です。



取り組みのきっかけ・現状

扶桑電通では、これまでも人材育成には力を入れてきましたが、こと「技能の向上」については、若年層の技能習熟のレベルにバラツキがあることが悩みでした。

また、入社10年程度の中堅層については、将来のキャリア展望をもった自己研鑽が十分にできていないことが不安要素でした。

具体的な取り組みと活用ツール

そこで、扶桑電通では若年層・中堅層に対して職業能力評価シートを使った技術・技能チェックをしてもらい、現在の力量を把握すると同時に、これからの課題を見つけてもらうことにしました。

この時、職業能力評価シートの記事で自社の実態に適さない部分があったので、自社の用語に置き換えたりして修整しました。

職業能力評価シートを修整した後に、入社1～5年程度の若年層にはレベル2、入社10年程度の中堅層にはレベル3を使って、本人チェックと上司チェックを行いました。この時、各人には「現場管理・施工管理・施工技能」の3職務のシート

をチェックしてもらいました。これは、扶桑電通の社員の主な業務は施工管理ですが、時には社員が現場管理をしたり、協力会社と一緒に施工作業を行うこともあるので、全ての職務をできることが必要だったからです。

このように複数の職業能力評価シートを使うと、職業能力評価シートで定める職制と自社のそれとが合わないことが分かりました。これは、職業能力評価シートでは、「職長」は現場管理の職務の社員を指していますが、扶桑電通では職長・班長という職務が明確に定まっていなかったため、1人の社員が現場で指示を出す職長・班長の立場であると同時に、他の社員から指示を受ける作業員の立場になったりすることがあるからです。そこで、社員が読んで分かりやすいように、自社の職制実態を踏まえて、職業能力評価シートの「職長」や「班長」といった文言を修正しました。

施工管理	原文	施工の進め方や役割分担等を計画して 職長 に指示する。	【備考】 1人の社員が職長でもあり、作業員でもあるため、各職務の立場に応じて「職長」という言葉を修整しています。
	修整後	施工の進め方や役割分担等を計画して 作業員 に指示する。	
現場管理	原文	先輩・ 職長 のアドバイスを受けながら、作業員へ指示している。	
	修整後	先輩・ 上司 のアドバイスを受けながら、作業員へ指示している。	
施工技能	原文	不明点を 職長(班長) に確認している。	
	修整後	不明点を 先輩・上司 に確認している。	

取り組み結果

チェックを行った結果、レベル2では「」や「**×**」の項目が多くなりましたが、社員からは「自分の能力が分かった」、「今後の能力向上に向けた課題が明らかになった」という声があり、各自がこれからの技能向上のための示唆を得ることができました。

また、レベル3では個人の特性（高度な技術力を持っているが、対人関係面に弱みがある、など）が明らかになりました。レベル3は、これから管理職に進むのか高度技術者を目指していくのか、という岐路に立っていることもあり、各人の性格

や得意分野に加えて、この技能レベルチェックも加味して進路を検討できないかと考えています。

今後の課題と方向性

今回の取り組みを踏まえて、扶桑電通では、「定期的な技能チェック・モニタリング」を行うことを検討しています。今回は「×」が多かった社員でも、来年チェックを行う時には「○」や「△」が増えていると思われます。このように、目に見える形で自分の技能が向上していることを実感

してもらい、その社員の自信とやる気に繋げていきたいというのが1つの狙いです。

また、5年、6年と継続的にチェックしていくことで、人による技能向上のスピードの違いや、習得した技能の範囲の違いが明らかになってくるので、配属や業務配分のための参考材料にしたいと考えています。

平成 24 年 3 月

(別添) 扶桑電通で文言を修正した職業能力評価シートの一例

氏名(本人)	評価実施日
	2011年 月 日

氏名(評価者)	評価実施日
	2011年 月 日

職業能力評価シート (施工技能 レベル2)

【評価の基準】

- : 一人でできている
(下位者に教えることができるレベル含む)
- : ほぼ一人でできている
(一部、上位者・周囲の助けが必要なレベル)
- × : できていない
(常に上位者・周囲の助けが必要なレベル)
- : 該当する業務を担当していない

共通能力ユニット

能力ユニット	能力細目	職務遂行のための基準	自己評価	上司評価	コメント
電気通信工業とコンプライアンス	行動指針の理解	1 業界における諸法令・規則、並びに自社の理念・社訓等の行動指針を踏まえて、現場で自分がすべきことが何かを理解している			
	行動規範の策定	2 自社の社会的責任に関わる行動規範(守秘情報の取扱い、顧客・関連事業者への対応、安全衛生管理・環境負荷対応、品質保持等)を理解している			
	行動実行の確認	3 関連法令やルールが守れているか確認しながら業務を遂行し、必要に応じた報告をしている			
	行動の維持	4 過去に問題となった具体例と行動逸脱を知り、行動規範を守ることにより発生を防止している			
関係者との連携による職務遂行	関係者との提携による職務の遂行	5 関係者(上司・顧客・協力業者・作業班・近隣等)に対して、報連相・改善策の提案等のコミュニケーションをとりながら、必要な問題解決と業務の遂行に取り組んでいる			
	良好な人間関係の構築	6 社内外と積極的に交流し、状況に応じた適切なコミュニケーションをとりながら良好な人間関係を築いている			
環境保全への取組み	環境保全の理解	7 環境問題に関心を持ち、自分の業務が与える環境負荷と、それに対してどのように取り組まなければならないのか理解している			
	環境保全の実施	8 日常生活における環境保全の取組み(省エネ・省資源等)を行うと同時に、周囲に対しても環境保全に対する指導・要求をしている			
	環境保全の評価及び改善	9 環境保全の実施状況をチェックし、不具合があれば改善している			
能力開発	能力開発の計画	10 部下の教育ニーズを把握し、適切な方法(OJT、研修会、Eラーニング等)を組み合わせた人材育成計画を策定している			
	能力開発の実施	11 部下や若手社員に対する指導育成を行うと同時に、自らの自己啓発に日々取り組んでいる			
	能力開発の評価及び改善	12 自分の教育指導を振り返り、部下の能力伸長について評価した上で、自分の指導方法や育成計画の改善に活かしている			

選択能力ユニット

能力ユニット	能力細目	職務遂行のための基準	自己評価	上司評価	コメント
作業準備	着工前準備	13 必要な道具・材料等を準備・点検し、作業指示を受けて段取りを確認している。また、乗り込み前現場打合せや、新規入場者教育に参加し、不明点を先輩・上司に確認している			
	作業手順等の確認	14 工程表等をもとに作業の流れを想定し、作業分担とチーム編成を行っている。また、不具合や変更に対して速やかに対応できる体制を保持している			
	現場状況の確認	15 作業に必要な事項での不明点や、作業場の不具合について、先輩・上司に報告して指示を仰いでいる。また、周辺環境や養生等について留意している			
	器具、工具の確認	16 作業に必要な器具・工具を準備・確認し、保管状況を確認している。また、日々の点検で不具合が見つかった場合は、必要な社内手続きと代替や予備品等の手配を行っている			
	作業前の準備	17 熟練を要する作業では、必要に応じた器具・工具を準備している。また、他職種との並行作業が有る場合には、支障が発生しないように、事前に調整している			
品質・工程維持	品質作業の遵守	18 手順書どおりに作業を実施している。また、不具合や問題があれば対応し、自分で出来なければ先輩・上司に報告し、指示に基づいた対応をしている			
	工程作業の見極め	19 週間、月間の作業工程を確認しながら、現場乗り込み時に滞りがないよう作業を実施している。また、毎日の作業打合せで翌日の作業内容を確認し、工程上の問題があれば先輩・上司・営業に確認している			
	安全作業の遵守	20 騒音等の防止・低減策を実施すると同時に、発生する恐れのある疾病や怪我の予防、及び必要に応じ安全着用等を心がけている			
	使用材料、器具、工具の整理・整頓	21 材料・器具等を適切に保管・管理しており、必要に応じて調達を申請している。また、定期的なチェックを行い、使用不可と判断された機器は適切に処置して先輩・上司に報告している。必要な機械等の危険性・有害性を周知している			

通信用メタルケーブル施工	通信用メタルケーブルの配線施工	22	同軸ケーブルやツイストペアケーブルの特性等を理解した上で、作業時の注意事項に気をつけながら確実に作業を実施している。また、配線障害が発生した場合は対応し、自分で出来なければ指示の下で障害要因を見つける作業をしている			
	通信用メタルケーブル施工時の測定試験	23	必要な測定試験項目を理解しており、簡単な測定試験を自ら行っている			
光ケーブル施工	光ケーブルの配線施工	24	光ファイバや光ケーブルの特性等を理解した上で、作業時の注意事項に気をつけながら確実に作業を実施している。また、配線障害が発生した場合は対応し、自分で出来なければ指示の下で障害要因を見つける作業をしている			
	光ケーブル施工時の測定試験	25	必要な測定試験項目を理解しており、簡単な測定試験を自ら行うとともに、異常時は先輩・上司に報告している			
ネットワーク施工	ネットワークの配線施工	26	光ファイバや無線LANの特性等を理解した上で、作業時の注意事項に気をつけながら作業を実施している。また、配線障害が発生した場合は対応し、自分で出来なければ指示の下で障害要因を見つける作業をしている			
	ネットワーク施工時の測定試験	27	必要な測定試験項目を理解しており、簡単な測定試験を自ら行っている			
保守・運用	情報配線システムの保守・運用	28	電気通信、LAN、ネットワークに関する大枠の理解を有しており、作業指示の下で保守・運用の業務を遂行している。また、情報ネットワーク等の最新動向を調査している			
SE作業準備	着工前準備	29	必要な道具を準備・点検し、作業指示を受けての段取りを確認している。また、乗り込み前現場打合せや、新規入場者教育に参加し、不明点を先輩・上司に確認している			
	作業手順等の確認	30	工程表等をもとに作業の流れを想定し、先輩・上司の指示に基づいて作業分担とチーム編成を行っている。また、不具合や変更に対して速やかに対応できる体制を保持している			
	現場状況の確認	31	周辺環境等に留意し、作業者の視点と顧客の指示事項に従って事前対策を立てて作業日誌等に残している			
	機器類の確認	32	作業に必要な機器類等を確認・準備し、日々の点検で不具合が見つかった場合は、必要な社内手続きと機器手配を行っている			
	作業前の準備	33	熟練を要する作業では、必要に応じた機器類を準備している。また、他職種との並行作業がある場合は、支障が発生しないように事前に調整している			
SE作業管理	品質作業の遵守	34	作業指示と役割分担を正しく理解して作業に取り組み、不具合や図面との食違いが見つかった場合は、先輩・上司に報告している			
	工程作業の見極め	35	週間、月間の作業工程を確認しながら、現場乗り込み時に滞りがないよう作業を実施している。また、工程上の不具合等があれば先輩・上司に確認している			
	安全作業の遵守	36	健康に留意するとともに、機器類の自主点検や整理整頓を行って安全作業を心がけている			
	使用機器類の整理・整頓	37	定期的に機器類をチェックし、使用不可と判断された機器は適切に処置して先輩・上司に報告している。また、SE作業に必要な機器類の危険性・有害性等がある場合は周知している			
SE作業	ネットワークシステムの検証	38	光ファイバや無線LANの特性・構造・仕様、無線LAN配線施工の特徴を理解しており、配線障害等が発生した場合は、障害要因を見つけ出す作業を行い先輩・上司に報告している。また、測定・試験の原理や方法を理解した上で自ら測定を実施し、データ確認・整理まで行っている			
	ネットワークシステムの保守・運用	39	電気通信、LAN、ネットワークに関する大枠の理解を有しており、自ら設計・保守・運用を実施している。また、構内・宅内のシステム図やプロジェクト単位での工程表を作成するとともに、ネットワークの障害要因を指摘している			
施工態度	マナー及び作業姿勢	40	規則・ルール・エチケットを守り、周囲からの信頼を得るとともに、全体の作業が円滑に進むようアドバイスや気配りをしている。また、率先して仕事に取り組み、自己研鑽にも励んでいる			

	自己評価 集計	上司評価 集計	上司評価 合計数に占める割合
の数 (a)			% (a ÷ d × 100)
の数 (b)			% (b ÷ d × 100)
× の数 (c)			% (c ÷ d × 100)
× の合計数 (d)			パーセンテージは少数点第2位を四捨五入して、少数点第1位まで記入して下さい